



八鹿っ子

～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

赤米を活用したふるさと学習

昭和38年、平城宮跡で1枚の木簡が出土されました。これは、天平勝宝7年(755年)に小佐郷の人が奈良の都に税として赤米を送った時の荷札であることがわかりました。この木簡の発見をきっかけとして昭和63年には小佐地区で赤米作りが始められました。この歴史と伝統に倣い、本校でも赤米を活用したふるさと学習を3年生と6年生で行っています。

つくづく、この赤米に関わる学習が、様々なつながりを生み出す教育活動であることを実感します。およそ1300年の時間と150km離れた奈良平城宮との空間をつなぐだけでなく、地域の方をはじめとする人々と子どもたちをつないでいます。また今回稲刈りを行った3年生は、6年生になる3年後に赤米献上に赴くことになり、子どもたちの未来ともつながります。様々なつながりの中で自分が存在していることに気づき、ふるさとへの愛情を高めることができる優れた教育素材だと思います。

■ 小佐の郷で稲刈り【3年生】 11月9日

小佐自治協の皆様にお世話いただいていた赤米田で3年生が稲刈りをしました。今年もたくさんの地域・保護者の皆さんに来ていただきました。幟や吹き流し、テントが立ち、お祭りのようです。最初はこわごわと刈っていた子どもたちですが、たくさんの大人が見守り、手ほどきをしてくださったおかげで、徐々に慣れた手つきになっていきました。



よく働きました



稲刈り後、みんないい顔です

■ 赤米献上の旅・出発式【6年生】 11月1日

赤米献上の前日は、学校と市役所前で出発式を行いました。沿道や市役所には、八鹿っ子に一声かけようと、たくさんの地域の方々が見送りに来てくださいました。地域の人々とのつながりの中で子どもたちが育まれていることを実感します。



市役所前での出発式

■ 赤米献上の儀【6年生】 11月2日

6年生は、赤米献上隊として奈良平城宮跡に行きました。今年は3年ぶりに地域の皆様もいっしょに赤米献上の儀に参加することができ、昨年に増して意義深い旅となりました。子どもたちは、素晴らしい天候の下、新しく復元されたばかりの「大極門」での儀式に参加しました。子どもたちにとっては、赤米と地域の希望を届けるとともに、150キロメートル離れた奈良の地からふるさと八鹿を思うという、

またない機会となりました。また、3年生の時に田植えや稲刈りをして育てた赤米を、6年生になって自ら献上することができ、小学校でのふるさと学習の総仕上げにもなりました。



広大な平城宮跡内を行列



大極門での儀式

「こじかの集い」(学習発表会)を開催します

日時：令和4年11月18日(金)

第1部(1~3年生) 開演13:00

第2部(4~6年生) 開演14:15

場所：八鹿小学校体育館

- ・ 各家庭2名までの参観とします。該当する学年部のみのお参観をお願いします。
- ・ 参観にはチケットとシールが必要です。
- ・ 詳細は別途配布のプログラムをご覧ください

■ 小中一貫6年生中学校登校 10月20日

6年生にとっては、中学校生活への期待や不安が具体的に感じられるようになる時期です。八鹿青溪校区では、そんな中学校への不安を少しでも解消するために、年間3回の6年生中学校登校を実施しています。今回はその2回目。6年生たちは4月から始まる中学校での生活をイメージしながら、1日を過ごしました。



■ 但馬小学生駅伝8位入賞 10月29日

山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会兼但馬小学生駅伝競走大会が開催されました。八鹿小学校は、3週間にわたる練習の中でぐんぐん力をつけてきた6年生8名のメンバーです。一本のタスキをつないで、最後までカー一杯走り抜きました。最終結果は8位入賞を果たす大健闘でした。八鹿っ子プライドを示した選手たちに拍手を送ります。



「もう少し 多くの人に喜んでもらえることに 一生懸命になろうじゃないか」

□ 今月の東井先生の言葉です。実際にはこの後に「地球だって 自転と一緒に 公転もやっている。」と続きます。毎朝、町中で出会う中学生がとても気持ちの良いあいさつをしてくれます。小学校でずっと勤めてきた私には、中学生になると、なぜあんなに気持ちよいあいさつができるようになるのかが不思議でした。そんな時、中学校の校長先生が「朝、おばあちゃんが立っているのを見かけたら“このおばあちゃん、自分があいさつしたら喜んでくれるだろうな。喜ばせたいな。”と思って自分からあいさつできる生徒はいますよ。」とおっしゃいました。こんなふうに、まわりの人への意識が持てるとしたら素晴らしいことだと思います。

□ 全校朝会では、「一秒の言葉」という詩を紹介しました。たった一秒で、相手に“ときめき”や“勇気”や“優しさ”を与えられる言葉があります。そんな言葉をたくさん見つけて、意識して使えるといいなと思います。今月は自分が持っている大切な時間を、少しでも誰かのために使ったり、誰かをよるこぼせるために使ったりできるように、取り組んでいきます。

一秒の言葉 小泉吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に
一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に
人の優しさを知ることがある

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で
勇気がよみがえってることがある

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で
しあわせにあふれることがある

(中略)

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が
一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く
一生懸命 一秒